

岐阜商工会議所

令和2年度経営発達支援計画評価委員会

議事録

- 日時 令和3年3月10日(水) 13時00分～14時30分
場所 岐阜商工会議所 5階 議員総会室
議題 (1) 委員長選任について
(2) 経営発達支援計画について
(3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について
(4) 経営発達支援計画策定の総評について
(5) その他

参加者 ○委員 7名

| | |
|---------------------|---------|
| 岐阜商工会議所 副会頭 | 廣田 孝昭 氏 |
| 岐阜県商工労働部 商工政策課長 | 桑田 善晴 氏 |
| (代理出席 団体支援係長 | 桑山 保 氏) |
| 大野経営労務事務所 代表 | 大野 実雄 氏 |
| 名古屋税理士会 岐阜北支部長 | 長谷川浩康 氏 |
| (管内小規模事業者) | |
| (有)エイ・エス・ピー設備 専務取締役 | 吉村 敏久 氏 |
| メガネの宝月堂 代表 | 粥川 正三 氏 |
| (株)石榴 代表取締役 | 神林 義治 氏 |

○事務局 18名

| | |
|---------------------|-------|
| 岐阜商工会議所 専務理事 | 森 健二 |
| 同 常務理事 | 河尻 満 |
| 同 理事兼中小企業相談所長 | 市村 敦史 |
| 同 中小企業相談所振興部企画振興課課長 | 加藤 量子 |
| 同 // 振興部産業振興課課長 | 鬼頭 貴士 |
| 同 // 支援部支援課課長 | 福地 優子 |
| 同 // 支援部相談課課長代理 | 小島 清隆 |

経営支援員他(14名) ※一部上記の者を含む

福地優子、鬼頭貴士、小島清隆、野倉拓也、平井佑弥、浅野冴香
森島 悠、山田成大、村上慶伍、三浦隆史、山口仁美、磯野拓実
田中 強、竹市 亨

内 容

議題（１）委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

市村理事より、資料１に基づき経営発達支援計画の概要について、および資料２に基づき評価の進め方について説明。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について

事務局より、資料３に基づき実績報告の概要について事業成果事例を交え説明を行い、各事業毎に委員が協議し、達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示、今後の展開・改善点等について意見が出された（詳細は下記評価表のとおり）。

<評価表>

| 区分 | 実施内容 | 事業の目標 | 評 価 | 提 示 | 今後の展開 改善点等 |
|---------------------------------|--|---|--------|--------|---|
| I. 経営発達支援事業の内容 | | | | | |
| 1. 地域の経済動 向調査に関する こと【指針③】 | 景況調査の実施／他 機関の調査報告資料 の収集、情報収集／経 営支援員情報交換会 議による総合分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済動向の正確な分 析の実現。 ・管内小規模事業者が地域 の景況感を感じることで、ま た地域動向に合わせた経営 の重要性の認識向上に対す る啓発。 | B | イ | コロナ禍であっても 情報が収集できるよ うな、デジタルの活 用など対面以外の調 査方法の改善を検討 してほしい。 |
| 2. 経営状況の分 析に関すること 【指針①】 | 巡回による経営情報 の収集・DB整備／経 営セミナー開催によ る経営情報の収集・ DB整備／財務分析・ 経営分析の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者の経営実態 把握と分析により、経営課 題抽出とその解決に向けた 事業計画策定へとつなぐ。 ・経営支援員と事業者の信 頼関係構築。 ・セミナー開催による事業 者の支援ニーズや経営課題 の掘り起しと、経営情報収 集。 | B | イ | 着手しつつあるとは 思うが、オンライン セミナーを実施する にあたり、内容によ って会場型とオンラ イン型のハイブリッ トにする等、様々な 形態に対応してほし い。また、設備のな い事業者への対応も 考えてほしい。 |

| | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|----------|----------|---|
| <p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> | <p>事業計画策定セミナーの開催／事業計画策定支援（個社支援）の実施／創業支援の実施（創業塾・創業相談）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定支援。策定時には1. の調査結果を踏まえ売上向上、収益向上実現を目指す。 ・地域産業の新陳代謝や活力強化のための新規創業支援。 | <p>A</p> | <p>イ</p> | <p>コロナ禍の影響もあるが、女性の創業支援に関して、実創業者が0人であることは課題であり、また、創業計画策定数と実創業者の数に相関があることから、来年度の女性の創業支援では計画策定まで伴走できる支援を実施してほしい。</p> |
| <p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> | <p>事業計画策定支援をおこなった事業者へ巡回等で個別フォローを実施。事業計画策定支援をおこなった事業者を対象としたフォローアップセミナーを実施。創業計画策定支援をおこなった事業者へのアフターフォローの実施。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の円滑な遂行のための密なフォローアップ。 | <p>A</p> | <p>イ</p> | <p>特になし</p> |
| <p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> | <p>日経テレコンのデータ活用／民と官の統計資料の活用／需要動向の分析</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日々変化する消費動向や需要動向の把握と事業者への情報提供。 | <p>A</p> | <p>ア</p> | <p>特になし</p> |
| <p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</p> | <p>商店魅力発掘事業（まちゼミ・おしえ店長サン）の実施／商談会・展示会・各種セミナーへの参加促進による販路開拓支援の実施／合同記者発表会等マスコミ・ケーブルテレビへの働きかけによる情報発信／ICT活用による情報発</p> | <p>販路開拓力が脆弱な小規模事業者に対し、ITを始めとする情報発信のサポートや、商談会・展示会といった販路開拓の場を創出、支援し売上増につなげる。</p> | <p>B</p> | <p>イ</p> | <p>まちゼミ・おしえ店長サンがYouTube上のみでの開催になったということだが、それにより手を挙げる事業者が減っているため、商工会議所からのサポート等の改善が必要ではないか。</p> |

| II. 地域経済の活性化に資する取組 | | | | | |
|-------------------------------------|--|---|---|---|--|
| | G シャツプロジェクト事業 (岐阜アパレルのブランド振興) | 市の基幹産業” 繊維産業” の振興に向けた新商品開発 支援 | — | — | 特になし |
| | 中心市街地活性化事業 | 市の中心市街地” 柳ヶ瀬” の魅力向上による地域の ぎわいの創出。 | — | — | 特になし |
| III. 経営発達支援計画の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組 | | | | | |
| 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | 県内支援機関情報交換会の実施/近隣支援機関開催の商談会・展示会等の相互参加や共催/他の支援機関への職員派遣 | 行政ほか各支援機関それぞれの事業情報を随時掴んで活用し、事業者支援へのより高い効果を得る。 特に先進的な取り組みを行う機関へは、一定期間職員を派遣しそのノウハウを吸収し小規模事業者支援力の向上を図る。 | — | — | 特になし |
| 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること | 業務支援員研修・経営支援員研修開催/経営支援員の各種研修・セミナーへの積極的参加/所内情報交換会の実施/支援業務での OJT の実施 | 経営支援員の支援スキルを上げるとともに平準化し、一定レベル以上の小規模事業者支援体制を確立する。 | — | — | 商工会議所への期待がこれまで以上に高まる中、支援員には更なる支援の質や幅が求められるため、さらなる研鑽に努め個々の資質向上につなげてほしい。 |

【評価基準】

- A：目標を達成することができた（100%）
- B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

【評価結果に基づく提示】

- ア：事業継続
- イ：事業改善
- ウ：代替事業への必要性
- エ：事業廃止

議題（４）経営発達支援計画の総評について

まず主軸事業成果として、創業支援事例について野倉経営支援員より発表があり、続いて個社支援成果として支援事例１２件を提示し、うち２事例について森島経営支援員、山口経営支援員により発表を行った。

総評として、今年度はコロナ禍という特殊な状況下で、非常に多くの支援実績を挙げ、小規模事業者の期待に応えてきたことは評価に値し、また多くの項目で目標達成であると認められる。

今後は、上記で指摘した改善点を踏まえ事業を遂行すること、加えて、商工会議所支援メニューの更なる周知や、コロナ禍で習得したIT等の支援スキルを活かし、引き続き伴走型支援に徹するよう要望された。また、今後も続くと思われる厳しい情勢の下、商工会議所への期待は更に大きなものとなるとの熱いエールを頂き、その為の経営支援員の資質向上が求められるため、日々個々の研鑽に努めるよう要望された。

議題（５）その他

なし

以 上